

2020 年度報告書

目次

ページ
番号

- 1 FUTI理事長からのご挨拶
- 1 東大友の会活動要約2007-2020
- 2 FUTI国際リーダーシップ奨学金の報告
- 2 FUTI国際リーダーシップ賞受賞者名簿、2020
- 2-3 米国伊藤財団-FUTI 奨学金プログラムの報告
- 3 米国伊藤財団-FUTI奨学金受賞者名簿、2020-2021
- 4 東大友の会による研究支援の報告
- 5 FUTI Alumni Association からの報告
- 5-6 2019-2020会計年度の募金結果
- 7 2019-2020会計年度財務諸表の要約
- 7 FUTI 講演シリーズ
- 8 2019-2020会計年度寄付者芳名録
- 9 FUTI 組織表



皆様に2020年の年次報告書を謹んでお届け致します。

東大友の会（FUTI）は2007年の設立以来、榊田、小林 両理事長のリーダーシップの下、FUTI夏季奨学金（国際リーダーシップ賞）を通じて、米国と日本の優秀な学生に素晴らしい留学の機会を提供して参りました。2015年、山田教授が第3代FUTI理事長に就任された後、2016年度から開始した米国伊藤財団の寄付の恩恵を受けFUTIの活動範囲は中長期的な海外留学プログラムへと大幅に拡大致しました。これらの奨学金は、科学、技術、芸術および人文科学の分野で次世代のグローバルリーダーとなる可能性を持つ優秀な東大生および米国大学生の初期のキャリア推進にとっても重要な機

会を与えており、確実に成果を挙げております。2019年10月からは私が第4代目のFUTI理事長に就任し、FUTI理事会、諮問委員会、スカラーシップ委員会、事務局のメンバーと共に、FUTIの使命を引き続き推進しております。しかしながら、2020年には2月から急速に広まった新型コロナウイルス・パンデミックの為に日米の大学での夏季短期留学プログラムが中止になり、ズームによるバーチャル・プログラムに変更になったり、米国大学院に入学しても実際にはキャンパスには行けず、講義もバーチャルで、日本で受講せざるを得ないと云った問題が多々起こりました。従って、FUTIの留学プログラムも当然多大な影響を受けましたが、FUTI ではこの危機的状況下に著しく普及したズームによるシンポジウム、セミナー、パネル討論会、ウェビナー、同窓会等を積極的に取り入れて活動を続けております。明日のグローバルリーダーを育成というFUTIの趣旨にご賛同していただいた皆様に心からお礼を申し上げるとともに、今後もより一層の御支援をお願い申し上げます。

理事長 尾島 巖
東大友の会

東大友の会活動要約2007-2020



FUTI 国際リーダーシップ奨学金の報告

東大卒業生と関係企業のご寄付を財源として、東大と米国の大学の相互間の夏季留学を奨学金で支援しています。

● 対象プログラムがほとんど中止に

2020 年度には 43 名の米大生、18 名の東大生の応募があり、12 名の米大生と 8 名の東大生を採択して奨学金支給の準備をしていましたが、コロナ禍の拡大によりほとんどのプログラムが中止になってしまいました。東大は夏季留学の受入れと送出しを全て中止しましたので、米大生の東大留学は無くなりました。東大生の米大留学も無くなりましたが、うち 3 名は在日のまま米大の遠隔授業を受ける選択をしましたので、必要な支援をさせて頂きました。

その間頂戴したご寄付については、コロナ禍が落ち着き留学環境が回復次第、急変を避けて複数年度に均す形で拡大予算を組み、有効に活用させて頂きたい所存です。

FUTI国際リーダーシップ賞受賞者名簿、2020

注：所属、専攻及び学年は申請書類に記入された情報



松本泰平

Taihei Matsumoto

東京大学・学部2年
工学

ハーバード大学サマースクール



安山瑠衣子

Ruiko Yasuyama

東京大学・学部4年
経済

スタンフォード大学
Summer International Honors Program



リリー・ユ

Lili Yu

東京大学・博士課程2年
機械工学

スタンフォード大学
交換プログラム

米国伊藤財団-FUTI 奨学金プログラムの報告

● 社会への貢献

(株)セブン&アイ・ホールディングス名誉会長の伊藤雅俊氏が理事長の米国伊藤財団からのご寄付を財源に、日本社会に将来貢献できる学生の1学期以上の中長期留学を奨学金で支援しています。2016年発足以来の実績では、東大生が対象ですが、国内他大学の学部卒業後に東大大学院に進学した学生も多く、また東大への外国人留学生在が米国に留学する場合や、東大に留学する米大生も少数名含まれています。

● 2020 年度の概況

短期留学の FUTI 奨学金とは異なり、中長期留学の米国伊藤財団—FUTI 奨学金は幸い全滅は免れましたが、規模は縮小の止む無きに至りました。

2020 年度には、前年度からの継続希望 1 名を含め 29 名の応募があり、10 名を採択しました。奨学生予定者は、念願の留学を実現しようと 2020 年末頃まで懸命の努力をしましたが、東大の留学生送出し中止と、米大の受入れ中止、それに米 Visa 発給停止が相次ぎ、留学を断念または 2021 年度に捲土重来で再度応募する選択を余儀なくされました。

結果的には 4 名の留学生を支援することができました。うち 3 名は既に前年から Chicago 大、Harvard/MIT 大、Columbia 大に留学していて、その継続なので障害が少なかったわけです。1 名は新たに Washington 大 (St. Louis) の PhD 課程に留学する Visa が幸い取得できました。

Online 授業が多いようですが、現地に留学して Online 授業を受ける場合には、奨学金算定上は In-Person 授業と等価と見なす方針としました。Online 授業は質問も討議もできて、能率的な利点もありますが、人間的な交流が難しい面もあり、長短半ばすると聞いています。両方の長所を取り入れた新しい授業形態が将来生まれるかも知れません。1 年延期を選択した奨学生も含めて、2021 年度以降の奨学金事業で遅れを取り戻したい次第です。

米国伊藤財団—FUTI奨学金受賞者名簿、2020–2021



注：所属、専攻及び学年は申請書類に記入された情報



大川 拓哉
Takuya Okawa

東京大学
学部4年
物理

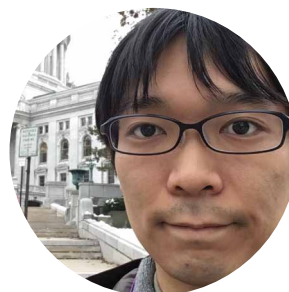
ワシントン大学セントルイス
物理



奥田 朋仁
Tomohito Okuda

東京大学
2013卒
都市工学

MIT Sloan School of Management/
Harvard University Kennedy School
Dual Degree Program



國光太郎
Taro Kunimitsu

シカゴ大学
修士1年
公共政策大学院

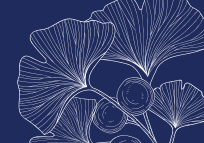
シカゴ大学
Harris School of Public Policy



佐藤 綾野
Ayano Sato

コロンビア大学
修士1年
Teachers College
アーツアドミニストレーション

コロンビア大学
Teachers College
アーツアドミニストレーション

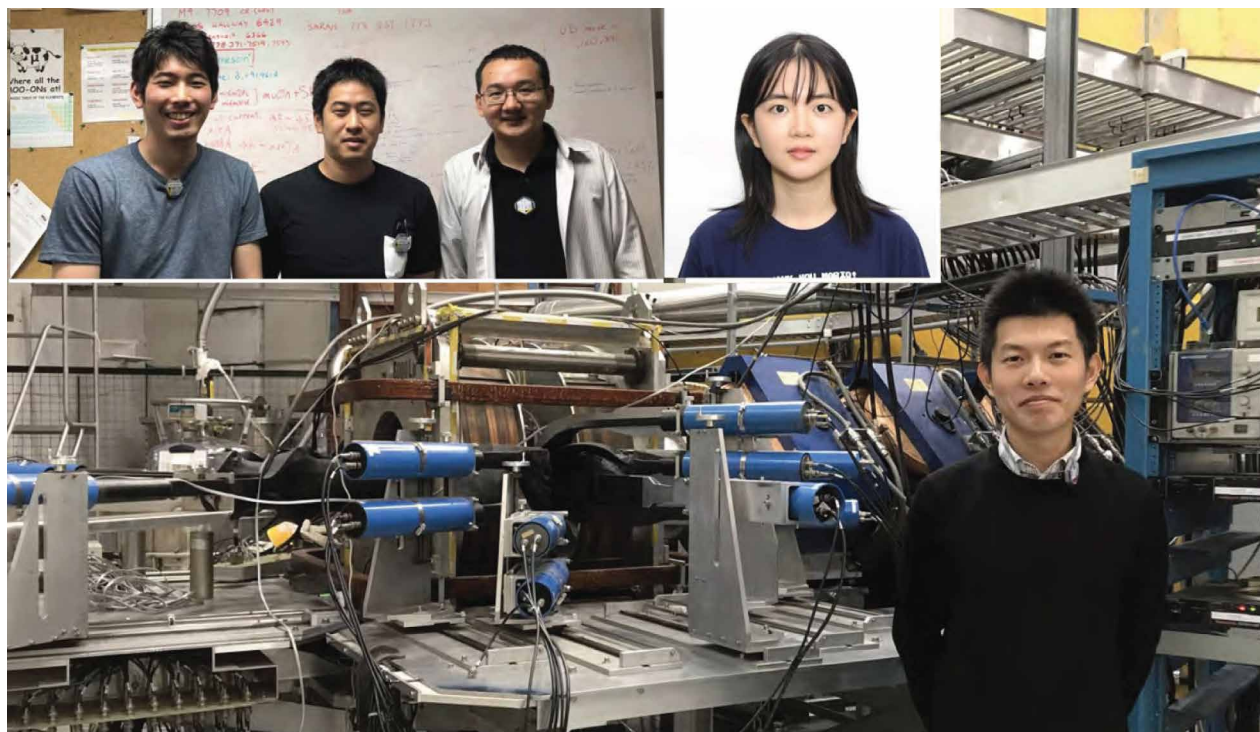


凝縮物質物理の最前線 (C-CMP) での教育研究協力

主任担当教授：植村泰朋教授、コロンビア大学

FUTI の支援を受けて植村教授（コロンビア大学物理学部）は、2012 年度から 東京大学の研究者と協力して「凝縮物質物理学のフロンティア」(FCMP) に関する国際的な共同研究および教育プログラムを継続してきました。植村教授は 2018 年の夏に東京大学（東大）の芝内孝禎教授と共同で、ミュオンスピン緩和 (MuSR) 測定による新しい超伝導体の高品質な単結晶の研究をバンクーバーのカナダ国立加速器研究所 TRIUMF で開始しました。そして、2019 年 8 月、9 月、11 月には TRIUMF の粒子および核物理学のための国立研究所のビームタイムでの共同測定研究を行いました。TRIUMF では東大の芝内教授のグループから大学院生が 3 名、コロンビア大学からは博士研究員と大学院生が各 1 名ずつ共同研究に参加しました。植村教授は 2019 年 8 月に TRIUMF のビームタイムに参加しました。これらの研究結果は東大の松浦康平氏の博士論文（20 当初から月）にも掲載されています。更に 2020 年 12 月からはスイスの Paul Scherrer Institute でのミュオンビームタイムを使った新たな希薄磁性半導体の MuSR 研究が開始され、東大電気工学の田中雅明教授研究室のグループの博士研究員 1 名とコロンビア大学の植村教授と博士研究員 1 名が参加しました。

植村教授はコロンビア大学で大学院講義コース「凝縮物質物理学のフロンティア」(FCMP) を企画運営しています。2019 年秋学期には学生 30 人が登録し、日本から科学者数名をニューヨークの同大学に招いて講義を行いました。当初から東大の大学院生がオフラインで利用できるように FCMP の講義の殆どが録画されていました。その後コロナ禍の影響で FCMP は 2021 年春学期にはオンラインの講義シリーズになり、東大と京都大学から各 10 名の学生がその分野で著名な日本の科学者数人と共同でオンライン講義を行い、アメリカ、ヨーロッパ、そして中国から約 200 名が参加しました。更に、植村教授はイタリアのローマ大学の Bianconi 教授と共同で 2020 年 6 月にオンライン会議「Quantum Complex Matter 2020」<https://www.superstripes.net/conferences/qcm-2020-the-conference> を企画・開催しました。このオンライン会議には 41 名の招待講演者と約 70 名の聴講者が参加し、芝内教授と植村教授は上記の FCMP に関する東大-コロンビア共同研究の結果を発表しました。また、招待講演では東大の教授 3 名と大学院生 4 名が超伝導と磁気の研究について発表しました。



TRIUMF (バンクーバー) の分光計でミュオンスピン緩和 (MuSR) を測定するチュウ・ミンウェイ氏 (東大)。上半分は 2019 年 8 月から 11 月まで TRIUMF での MuSR 研究に参加した松浦康平氏 (東大)、竹中崇了氏 (東大)、ジャオ・クオチャン博士 (コロンビア) とシェン・チ氏 (コロンビア)。



FUTI Alumni Association (FAA) の初代会長を務めている、プリンストン大学博士課程所属の羽場優紀です。FAA は、2010 年以降 200 名近くを輩出してきた FUTI の奨学金の同窓生同士の年代や専門を超えた幅広い繋がりを構築する為 2019 年春に発足し、9 月に発足パーティを行いました。昨年(2020 年)は米国及び世界的な COVID-19 のパンデミックの影響を受け、予定していたような in-person の同窓生の会合を行うことができませんでした。しかしながら、FUTI やさつき会アメリカのご支援を受けて、打越文弥氏の講演「日本における少子高齢化とジェンダー格差」、Mehta/Macotullio 教授によるダイアログ「Covid 19 の経験から学ぶ：ニューヨークと東京」といったイベントの開催に共催として参加する事ができました。また、FUTI Alumni Association (FAA) のメーリングリストを通じて多くの FAA メンバーと有用な情報を常に共有する事により、発足したばかりの FAA の基盤を作ることができました。さらに、私自身も昨年末に行われた現役奨学生との顔合わせ会にも参加させていただき、FAA と現役奨学生との繋がりの重要性を再確認しました。今後は状況を見ながら徐々にですが、グローバルに活躍する FAA メンバー間の繋がりを更に育てる為に対面でのイベントを企画していきたいと思っています。

プリンストン大学 Dept. Ecology and Evolutionary Biology 羽場 優紀

2019-2020会計年度の募金結果



2019/20 年度(2019 年 7 月 1 日から 2020 年 6 月 30 日まで)は、総額約 20 万ドルのご寄付を頂きました。ちなみに過去の寄付総額は、2012/13 年度から 2018/19 年度まで、約 13 万 1 千ドル、11 万ドル、11 万 6 千ドル、31 万 6 千ドル、19 万 9 千ドル、31 万 3 千ドル、29 万 6 千ドルと推移しました。2015/16 年度から寄付総額が急増したのは、同年度から開始された米国伊藤財団からの毎年 20 万ドルを上限とするご寄付によります。今年度の寄付総額減少は、コロナウイルスの世界的感染拡大のため留学および国際学術交流がほとんど停止し、米国伊藤財団からのご寄付が一時的に減額したためです。

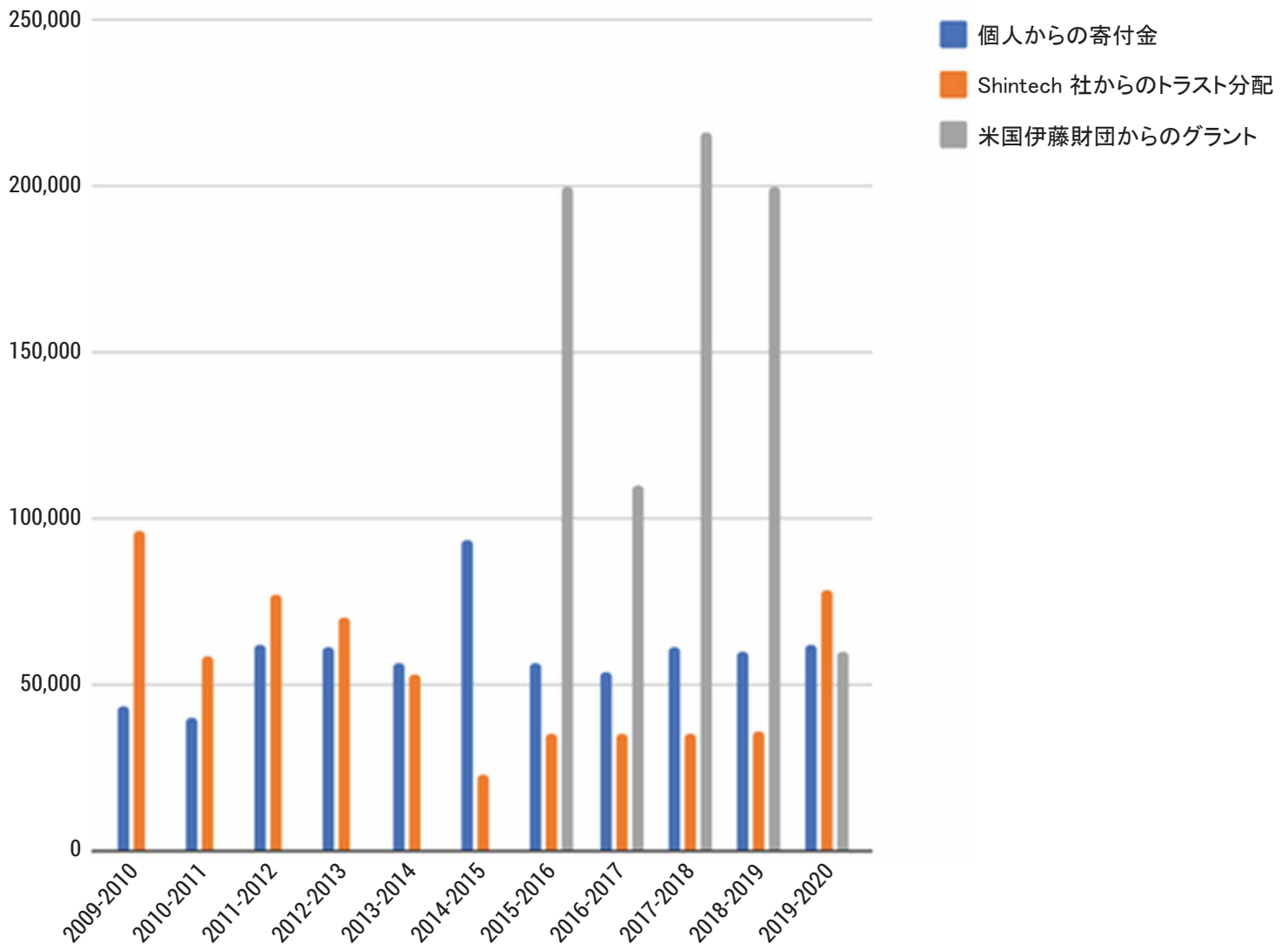
今年度の一番大きなご寄付は、シンテック社からのトラスト分配でした。シンテック社には長年にわたり継続的な寄付をいただいておりますが、2019/2020 年度に今後さらに5年間の契約更新がなされました。トラスト運用先の変更がなされた際に、過去 5 年間の調整利益が加わったため、7 万 9 千ドルと受領額が増加しました。シンテック社からのご寄付は、主に夏季の短期留学の支援に使われています。収入の大きな柱である米国伊藤財団からのご寄付は、米国に中長期(一学期以上)留学する東大の現学生および卒業生を支援する奨学金「米国伊藤財団-FUTI 奨学金」に使用されますが、今年度は留学が多くキャンセルされ、当初 15 万ドル頂戴する予定でしたが 6 万ドルとなりました。

個人寄付者 (general public) の数は、毎年 60-70 人で推移してきています。2019/20 年度は 51 名でした。個人寄付総額は約 6 万 2 千ドルと、昨年とほぼ同額で、個人寄付の重要性をご理解くださった何人かの寄付者が増額してくださったことで、寄付総額が支えられている状況です。これからの、新たなサポーターの開拓がますます重要な状況です。

シンテック社、米国伊藤財団には、FUTI のミッションに対する寛大なご支援をいただき、心から感謝いたします。また、シンテック社、米国伊藤財団に今後も引き続きご寄付いただき、かつ現在レベルの活動を続ける条件として、個人の寄付者から十分な寄付を集めることが必須です。ご寄付いただいたお一人お一人に感謝すると共に、今後も個人の皆様からのご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

過去数年に渡り FUTI は大きな進歩を遂げ、各種プログラムを育ててきました。スカラシップと研究 Grant プログラムが発展する様、そして受賞者が学業に励み努力する姿をみて喜ばしく思います。受賞者の中には留学の成果として、立派な賞を獲得される方々も出てきております。多くの著名な大学、特に先進国を代表する他大学との競争がますます激しくなっているグローバルコミュニティにおいて、東京大学のプレゼンスを高めていくことは卒業生の喜びでもあります。非常に優れた多くの学生たちをグローバルコミュニティに送ることをサポートして下さる皆様に FUTI より深く感謝申し上げます。

東大友の会への寄付: 2009-2020 (単位: USD)





貸借対照表(単位:USDドル)

(2020年6月30日期)

| 資産 | | 負債 | |
|------------|---------|---------------------|---------|
| 流動資産 | | 流動負債 | |
| 当座預金、普通預金 | 423,437 | グラント(研究助成金、奨学金)未払い分 | 91,500 |
| 未収寄付金 | 14,684 | 未払費用 | 6,403 |
| 固定資産 | | 固定負債 | |
| パソコン(未償却分) | - | | 0 |
| 資産合計 | 438,121 | 負債合計 | 97,903 |
| | | 正味財産 | |
| | | 一般正味財産 | 289,333 |
| | | 制約的正味財産 | 50,885 |
| | | 正味財産合計 | 340,218 |
| | | 負債・正味財産合計 | 438,121 |

活動計算書(単位:USDドル)

| 経常収益 | | 経常費用 | |
|---------------|---------|-----------------|---------|
| 寄付金 | 200,228 | グラント(研究助成金、奨学金) | 94,500 |
| プログラム収入 | - | 業務費用 | 24,571 |
| 受取利息 | 220 | | |
| 経常収益合計 | 200,448 | 経常費用合計 | 119,071 |
| 当期正味財産増額 | 81,377 | | |
| 前年度末正味財産合計 | 258,841 | | |
| 2020年度末正味財産合計 | 340,218 | | |

FUTI 講演シリーズ



FUTI 講演シリーズでは、米国を訪問された東大教授や著名な卒業生に講師になって頂き、東大卒業生などにとって関心の深い問題を議論、検討する場を提供しています。イベントは通常オンラインまたは、ミッドマンハッタンの会場で開催されます。

| 講演テーマ | 講師 | 日時 | 共催・後援 |
|--|---|------------|-------------------------------------|
| 日本企業の建値通貨選択と為替リスク管理 | 伊藤 隆敏教授、コロンビア大学(兼)政策研究大学院大学(夏期) | 2020年1月30日 | さつき会アメリカ ニューヨーク銀杏会 |
| ヤングプロフェッショナルシリーズ:日本における少子高齢化とジェンダー格差:男性が支配する世界で「革命」は起こるのか? | 打越文弥氏、プリンストン大社会学部博士課程 | 2020年2月28日 | さつき会アメリカ FUTI Alumni Association |
| AI(人工知能)研究の動向と今後の展望 | 古井貞熙名誉教授/栄誉教授、東工大、Toyota Technological Institute at Chicago 理事長 | 2020年7月19日 | シカゴ赤門会(主催) |
| Covid 19 の経験から学ぶ:ニューヨークと東京 | Prof. Peter J. Macotullio, Institute for Sustainable Cities at Hunter College Prof. Geeta Mehta, Columbia University | 2020年7月29日 | さつき会アメリカ FUTI Alumni Association |



東大友の会の活動に対する温かい御支援と多額の寄付を賜りましたそのご厚志に深く感謝申し上げます。皆様のお陰で米国、日本、及び世界での東京大学の将来の持続的発展、共同プロジェクトや意見交換に協力すべく経済的支援や機会を提供することができます。

法人

Benefactor
(\$15,000 以上)

米国伊藤財団
\$60,000

Shintech 社
\$78,531*

2019-20会計年度総計: 3法人†、51人; \$200,228‡

個人

Donor
(\$1,000-\$9,999)

尾島 巖
\$6,000

小林 久志、正江
\$5,000

松下 重恵、スミエ
\$5,000

山田 雅章
\$5,000

桑間 雄一郎、千佳
\$3,000

桜井 本篤、信子
\$3,000

伊藤 澄子
\$2,500

岡本 康夫
\$2,500

小出 昌平、明子
\$2,500

大迫 政子
\$2,000

小林 久志
小林昭七記念寄付
\$2,000

小宮山 宏
\$2,000

Krishen & Geeta Mehta
\$2,000

武神 淳之
\$1,500

青木 昭明
\$1,000

伊喜利 佳業
\$1,000

楠原 千秋
\$1,000

杉山 健一
\$1,000

董 克勇
\$1,000

浜田 宏一、Carolyn Beaudin
\$1,000

若生 信弥
\$1,000

Supporting Member
(\$500-\$999)

浅見 徹
\$900

匿名
\$600

さつき会アメリカ
\$517

岸岡 駿一郎
\$500

木村 昭
\$500

酒井 孝樹
\$500‡

吉田 洋一
\$500

渡邊 泰秀
\$500

Friends
(\$250-\$499)

匿名
\$350

チン リー
\$300

藤松 あつこ
藤松忠夫記念寄付
\$250

Erika White
\$250

山田 健一郎
\$250

山田 雅子
\$250

\$250未満のご寄付

三道 弘明
\$200

浜田 穰太郎
\$120

匿名
\$100

洪 政國
\$100

後藤 美波
\$40

名前のみの方々
(五十音順)

市瀬 史

植村 泰朋

打越 文弥

河本 雄

鈴木 由利子

藤崎 哲之助

古井 貞熙

古澤 えり

森 繁

*5百万ドルの信託基金からの今年度配当分
† MUFG Union Bankからマッチング・ギフトをいただきました。
‡ マッチング・ギフトを含めた総額



理事メンバー

尾島 巖
理事長・CEO

University Distinguished Professor,
Stony Brook University – State
University of New York

桑間雄一郎
副理事長・財務担当理事・CFO
Mount Sinai Beth Israel、東京海上記念
診療所院長

武神淳之
副理事長・業務担当理事・COO
タイガーパンフィックキャピタル、
アドバイザー

伊藤隆敏
コロンビア大学国際関係・公共政策大学
院 教授; コロンビア大学ビジネス
スクール 日本経済経営研究所;
公的年金・政府系ファンド研究プログラ
ムディレクター、研究副部長

桜井信子
FUTI Alumni Association 担当理事
Lotus Circle Asia Foundation、
アドバイザー

津田敦
東京大学理事・副学長

松下重恵
奨学金プログラム担当理事
Japan Wink Communications、元社長、
Member of the Japanese Computer
Pioneers

ギータ・メータ
Adjunct Professor of Urban Design,
Columbia University; Founder and
President, Asia Initiatives

山田雅章
名誉理事長 (non-voting)
プリンストン・プラズマ物理研究所、
荣誉研究員

小林久志
名誉理事長 (non-voting)
プリンストン大学名誉教授、元工学部長

榎田淳二
名誉理事長 (non-voting)
ニューヨーク銀杏会名誉会長

小宮山宏
名誉理事 (non-voting)
三菱総合研究所 (株) 理事長、
東京大学第28代総長

アドミニストレーション

大迫政子
事務局長
Executive Director, International
Longevity Center (ILC) Global Alliance,
さつき会アメリカ幹事

藤崎哲之助
会計
President, Ringo Software Technology,
Inc.

伊喜利佳業
法務担当オフィサー
Vice President & Assistant General
Counsel, JPMorgan Chase Bank, N.A.

諮問委員会メンバー

山田雅章
委員長

伊喜利佳業
Vice President & Assistant General
Counsel, JPMorgan Chase Bank, N.A.

岡本康夫
Hughes, Hubard & Reed LLP,
Senior Counselor

小出 明子
Research Assistant Professor, New
York University School of Medicine,
Perlmutter Cancer Center at NYU
Langone Health; さつき会アメリカ、会長

小林久志
プリンストン大学名誉教授、
元工学部長

河本 雄
在米国日本国大使館 公使

鈴木由利子
Principal, Y SUZUKI CONSULTING
LLC

董 克勇
ハーバード・ロー・スクール 講師、
ニューヨーク銀杏会副会長

浜田宏一
イェール大学名誉教授、
東京大学名誉教授

藤崎哲之助
President, Ringo Software
Technology, Inc.

古井貞熙
Toyota Technological Institute at
Chicago 理事長、国立情報学研究所
研究総主幹、東京工業大学名誉教授

エリカ・ホワイト
Attorney, Davis and Polk & Wardwell
LLP

小出昌平
New York University School of
Medicine, Professor of Biochemistry
and Molecular Pharmacology;
Perlmutter Cancer Center at NYU
Langone Health, Director of Cancer
Biologics

佐藤公一
職権上の諮問委員
サンフランシスコ赤門会、会長

長谷川泰
職権上の諮問委員
スタンフォード・シリコンバレー赤門会
会長; プレシデント、Henry Taube
Institute

山口勝之
職権上の諮問委員
ニューヨーク銀杏会、会長; 弁護士、
西村あさひ法律事務所ニューヨーク
事務所

Scholarship委員会

松下重恵
委員長

大迫政子

尾島 巖

小出昌平

桜井信子

山田雅章